

「f・wave」とは、

fは、female-女性、
friend-友、
freedom-自由、
future-未来、そして
f-強く、を意味し、

waveは、波を表します。
f・WAVEは、社会環境の変化の
波を誌面を通して伝え、女性が生
き生きと暮らせる未来をめざす
コミュニケーション誌です。

f・wave



特集1

共に生きる ~今を大切にしながら、自分らしく暮らしていきたい~

特集2

小学生・中学生に聞きました 女の子でよかった? 男の子でよかった?

きる

介護施設で生活している高齢者の方と、そこで働いている方々に、自分の老後について、ざっくばらんに語っていただきました。

21世紀も「女と男」共にのびやかに生きるために…

自分らしく暮らしていきたい～



ライフワークを見つけたい

ここでは、来所される方たちの話し相手になるのも仕事のひとつ。でも、忙しいとゆっくりとお話することができなくて…。自分が年をとったら、元気なうちは住み慣れた家で一人暮らしも自由気ままにライフワークを見つけ、老後の生き甲斐としたいですね。(30代女性 デイサービス施設勤務)



よりよいシステムを作りたい

介護福祉は新しい時代に入ったと思います。認定調査やケアプランの作成、ケアマネージャーの資質向上研修等、本当に多忙な毎日。時には、自分の力のなさを感じることもあるけれど、同僚と協力しながらよりよい介護システムを作っていきたいですね。私自身、老後は経済的な不安を持つことなく、すーと好きな事をやりながら生き甲斐のある生活がしたいわ。(40代女性 ケアマネージャー)



老後のことは、はっきり言って不安だらけ。国民の義務として税金や年金は納めているけれど、自分が定年になったとき、果して今のお年寄りの様に年金をもらえるのかどうか…。リタイヤ生活に入ったら好きな事をしたけれど、だからといって貯金をする余裕もない。いろいろ考えてみると、なんだか絶望的だなあ。(30代男性 福祉施設職員)



不安だらけ…



私は現役大学生

何となく勉強したいな一と思っただけがきっかけで、通信制の大学の家政学科児童学部に入學し、何十年ぶりの学生生活。今は単位取得の為、レポート作成と試験勉強に追われています。英会話教室にも通い始めましたが、なかなか上達しませんね。これからも、夫婦プラス犬一匹、健康に気をつけて、いろんなことにチャレンジしていきたいですね。(60代女性 介護ボランティア)



バワフルに、朗らかに

若い時は、病院でヘルパーをやっていたよ。私はまだ体が自由になるから幸せ。だから、なるべく自分のことは自分でするの。布を買ってきて、自分でチョッキを作ったりもするのよ。私は周りを楽しくすることが好き。朗らかに暮らすことがいいのよ。(70代独身女性 特養ホーム入所者)

特集1

共に生

～今を大切にしながら、



今日は
今日に生きる

ここでは、オムツたのみなどヘルパーさんのお手伝いをしているのよ。歳をとると子どもに返るといふか、わがままになるけど、とにかく自分でやる気を起こすこと。私は音楽が好きだから、リハビリを兼ねて大きな声を出して歌を歌うの。本を読んだり、ものを書いたりもする。今日は今日に生きる。今を大切にすることね。(80代女性 特養ホーム入所者)



ボランティアは宝なり

ボランティアをはじめ、行き着くところは人の力。優れた人材を養成しつつ、利用者が快適に生活できるよう努めています。幼稚園から学生まで若い人たちが施設を訪れ、お年寄りとおつきながりをもってくれるのはうれしいことです。園を訪れた保護観察の少年たちも、最初は突っ張っているようですが、帰りには手を振っていきんですよ。私ですか？ 私は健康を基本に絵や書道の趣味と旅行で人生を楽しんでいきたいですね。(50代男性 特養ホーム園長)



は周囲と
協力して

一年先に何をしているかもわからないのに、自分が年をとった時のことなんて想像もつきません。でも、親が祖父の介護をしていたので、介護の大変さは何となく実感できます。何でも一人で頑張ろうとしても絶対に無理だと思つので、家族や周りの人に協力してもらいべきですね。(20代女性 福祉施設パート)



福祉は
「おひい様の精神」

78歳の母の介護をしながら、ヘルパーの仕事をしています。自分が楽しんで介護をすれば、そこに暮らす高齢者も楽しんでくれるし、自分が元気でいれば母も元気になることが感じられる。老後は、雑多家族の中で、そこそこ生きていけるのがいいと思っています。煩わしいこともあるだろうけど、孤独よりいい。自分が生きていることの証は、どれだけ人の役に立っているかだし、それで自分も生かされていると感じる。人は、寄り添い生きるべしね。(50代女性 ヘルパー)



レベルアップを

今は、ヘルパーさんとケアマネージャーとの調整役をしています。介護保険に切り替わって、現場は少々混乱しています。利用者やヘルパーさんのために、よい環境を作りたいと思っても、双方の苦情や相談で仕事にゆとりがありません。これからはもっと現場に出て行きたいし、自分自身のレベルアップを図りたい。老後のことは、イメージがわかないけれど、猫でも飼って、のんびり暮らしたい。(20代男性 介護福祉士)





屋城小学校 男子 13名
5年生 女子 16名



1 何色のランドセルが良かったですか？



赤 15人
オレンジ 1人



黒 13人

2 家で手伝いをするように言われますか？



3 習い事は何をしていますか？ (複数回答)



ピアノ 11 (人)
スイミング 4
習字 4
英語 4
その他 5



英語 5 (人)
習字 3
野球 2
スイミング 2
空手 2
その他 3



4 将来どんな仕事をしたいですか？ (複数回答)



ペットショップ店員 1 (人)
歌手 1
弁護士 1
犬のトレーナー 1
会社員 1
ゲームクリエイター 1
デザイナー 1
コンビニ店員 1
決めていない 10



父親のあとをつぐ 2
プロ野球選手 2
警察官 1
大工 1
決めていない 7



5 男に、あるいは女に生まれて損したこと、得たことがありますか？



損したこと

・女だから少しは手伝いをしなさいと言われた
・友達関係が軽い

得たこと

・スカート・ズボン両方はける
・かわいい服を買ってもらえる
・料理・手芸ができる
・髪型をかわいくできる



損したこと

・男だから泣くなと言われた

得たこと

・堂々とできる
・運動がよくできる
・絵・工作がうまい
・子どもを産まない

よかった？

よかった？



市立屋城

増戸中学校

平等のアンケート

した。その

は？



増戸中学校 男子17名
3年生 女子15名



1 生徒手帳は
何色がいいですか！ (複数回答)



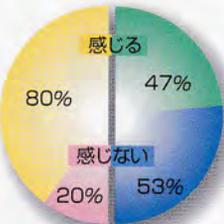
ピンク 4 (人)
青 4
赤 2
黒 2
水色 2
オレンジ 1
虹色 1
何色でもよい 1



黒 3 (人)
青 3
赤 1
ピンク 1
パープル 1
緑 1
白 1
茶 1
マリンブルー 1
水色 1
銀 1
何色でもいい 1



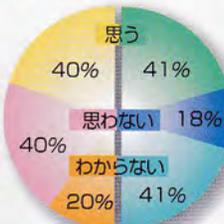
2 「男らしく(くせに)」「女らしく(くせに)」といわれると反発を感ずますか？



3 次のことについて伺います

イ. 国会議員子連れ出勤をどう思いますか？

ア. 「相撲の土俵に女性が上がることは許されない」というのは差別だと思いませんか？



4 将来どんな仕事をしたいですか？ (複数回答)



音楽関係 3 (人)
教師 2
福祉関係 2
人と接する 1
法律関係 1
薬剤師 1
美容師or理容師 1
TV局のAD 1
わからない 4



音楽関係 1 (人)
教師 1
人と接する 1
スポーツ関係 1
通訳 1
雑誌の編集 1
ゲームデザイナー 1
まん才師 1
医療関係 1
リストラされない仕事 1
わからない 8



5 男に、あるいは女に生まれて損したこと、得たことがありますか？



損したこと
・夜道があぶないと言われる
・ことは使いを注意される
・女だからおとなしく、おしとやかにと言われる
得たこと
・スカート、ズボンをはける
・おしゃれができる
・レディーファースト
・レディー半額の特典
・力仕事をやらなくてよい



損したこと
・お前は男だから荷物を持つと言われる
・男だから力仕事はやれると言われる
・なんたって女の方がよかった
得たこと
・力がある
・身長が高い
・赤ちゃんを産まなくてよい



◆アンケートを終えて◆
M ランドセルの色が、黒と赤だけに分かれたのは意外ね。
F ずっと昔からの色だから、黄色とかピンクのランドセルはかえって抵抗あるんじゃないの？
N お手伝いを頼まれるのが、男の子が女の子の2倍と断然多いのは、ちょっとびっくり。
S 女の子は言われなくてもやっているということじゃないか？
T えー、そうかなあ？
K とにかく男の子だから手伝いを頼まれないということではないみたいね。
F 中学生位の時って、女の子の方が感受性が強いのかな。「女らしく」と言われることに反発を感じるの、圧倒的に女の子が多いし、「土俵」「子連れ出勤」にしても、80%が賛成、反対の意志表示をしているものね。しっかりしてる！
H 男に生まれて得たことこの理由に「運動ができる」「背が高い」とあるけれど、裏返せば、そうでないと損することもあるということでしょう。いろいろ考えさせられるわねエ。
K 「男だから泣くな」なんてかわいそう。男だって女だって泣きたい時は泣けばいい。
O とにかく皆がんばってほしいね。

(編集室より)

自分の持ち味で

「ほぼ笑みに勝る化粧なし」教頭4年目の藤原先生のモットーがこれ。「もともと体育の教師ですし、額に光る汗の輝きが好きなんです」と話す。

教師になろうと思ったのは、中学の時、担任から「これからは女性も仕事を持つ時代。その中でも教師・弁護士・医者には、男女に関係なく対等に働ける職場だ」と言われたことがきっかけになったこと。「性別にとらわれず、自分の持ち味で仕事をしたい」そんな思いで教師へ。

「教頭になってからも充実した毎日を送っていますが、子どもた



増戸中学校教頭 藤原和代さん

ちどの直接の関わりが少なくなったのが、ちょっと寂しいですね。また、日頃から心がけていることとして、地域の方々との交流を持つ時や、保護者との話し合いの中で、女性ならではの体験をもとにした対応が出来たらいいなと思っています」そして女性が働き続けるには、パートナーの協力も必要とのこと。

「私の場合、夫や娘二人も仕事に理解を示してくれています。子供が小さい時は大変でしたが、家族のチームワークでここまでこれました。もちろん、周りの方の理解や協力があったのでことです」

増戸中は「男女平等教育推進校」になっていきます。それについては「特に気負いはなく、まずは、日常生活の気付き」からだと考えています。そして、生命の大切さや人権尊重について、自然な形で子どもが男女平等観を感じ取ってくればと思っています。10年、15年後に自分なりの答えが見つければ良いのではないのでしょうか。」

あきる野発・ひと

個性で勝負!

今年の4月、屋城小学校に教頭として赴任。「えっ、教頭先生って男がなるんじゃないの?」「女がなってもいいんだ」と、子どもたちから驚きの声が上がったとか。

「子どもたちの意識が変わっただけでも、私が教頭になった意味があったかもしれませんね」と篠原先生。しかしこれまで、職場で「女性」だからということとは、ほとんど意識したことはなく、いつも自分らしさで勝負してきたそうです。

「教頭になって改めて強く実感したことがあります。学校がいかに多くの方々に支えられているか、ということですね。地域の方々の関心の強さや細かい御配慮を肌で感じます。保護者の方々の切実な願いからの御協力。どれも身にしみて、ありがたいと思います。学校スタッフの工夫や努力も、大切な支えです。『子どもは地域の宝』すばらしいことと思っています」

ふり返れば、育児や介護に悩んだ時期もあったとのこと。でも、一度も仕事を辞めようとは思わなかったそうです。

「教師という仕事が好きだったこともありすが、仕事をしな



屋城小学校教頭 篠原敬子さん

い自分を考えることはできませんでした。でも今は、家族みんなの協力で、楽しく仕事を続けてこれたという思いの方が強いですね。学芸会の時などは、踊りや選曲などで娘たちに相談して、家中で大いに盛り上がりましたね」

「夢・勇氣・ユーモア」略して「3Y」これが篠原先生のモットー。「自分で自分にハッパをかけているんです。特に、ユーモアと笑顔を忘れずにいたいですね。もちろん、これからも個性で勝負です」

◆取材を終えて◆

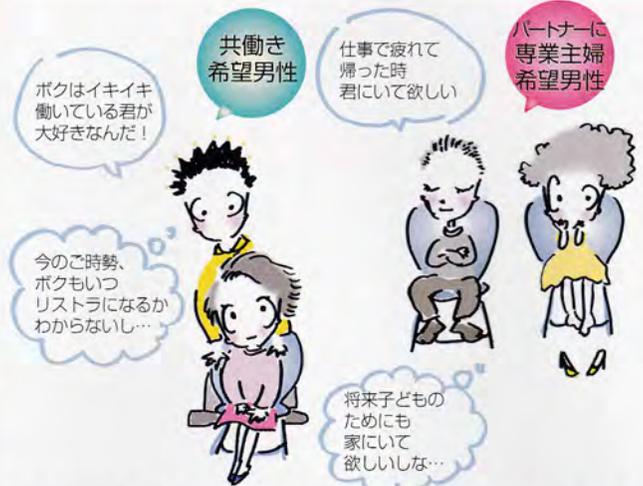
今後、お二人のような女性の管理職の誕生が期待されます。また各分野でも、女性が社会進出し、活躍の場を広げて行って欲しいと思います。



◆女性から男性へ「結婚して下さい」◆



◆男性から女性へ「結婚して下さい」◆



中でも、手漉き和紙（軍道紙）は地場産業として古くから発展してきました。紙漉きは農家の副業として行われ、漉き屋、紙屋と呼ばれた紙漉き小屋はすべて川の側にありました。清流にはコウゾ（紙の原料）の皮がさらされ、岸辺に並ぶ小屋の中では、コウゾから塵を取り除く作業が、女性たちの手で黙々と行われていました。畑仕事や野良へ出る男たちに代わって、紙を漉くのは主に女性の仕事でした。紙漉きは水仕事、水の管理がきちんとできれば一人前。その水も冷たい程良いとされ、冷え切った手を暖めるには、脇に置いた鍋の湯に手をつけるだけ。あ

街角スポット 5

紙屋には嫁やるな!?
軍道紙のいまむかし

—ふるさと工房五日市を訪ねて—

武蔵五日市駅からバスで15分、荷田子バス停から徒歩3分の所に、白壁の美しい工房があります。山々に囲まれたこの工房では、手漉き和紙や陶芸、染色の体験が楽しめます。

かぎれを恐れているはこの仕事は務まらない。「紙屋には嫁にやるな」という親心がしのばれる話も残っているようです。

現在、工房では担当スタッフが、体験学習で訪れる生徒たちや観光客に紙漉きを教え、売店ではここで漉かれた紙が販売されています。

あきる野市立小中学校の卒業証書に、ここで漉かれた軍道紙が使われていることはご存知の方も多いいと思いますが、都の文化財指定書にも使われています。

この秋は、工房までちょっと足をのばして、和紙のもつ素朴な温かさに触れてみませんか？

参考「郷土あれこれ」第27号



本

◆話を聞かない男、地図が読めない女



◆命

アラン・ピーズ+バーバラ・ピーズ 著
藤井留美=訳
主婦の友社

自分の脳と相手の脳、その傾向と特徴を理解すれば、今よりもっと充実した楽しい関係を築く事ができるはず。男と女は違って当たり前。むしろ違っているからこそおもしろい。さて、あなたは「男脳」それとも「女脳」？（判定テスト付き）



◆命

柳 美里 著
小学館

消えゆく命と、生れ出づる命。この二つを対比させながら、「命の重さ」「家族の絆」について考えさせられます。
『この物語を書くことで、生きていく決意を固めたかった』
——本書あとがきより

※この本は、市内図書館で借りられます。

男女共生セミナーに参加して



のではと自分を責め、経済的にも自立する自信もないため、我慢してしまうからだろう」と吉廣さんは分析する。

更には、子どもにも与える影響も深刻であると。母を殴る父、子どもにあたる母。これらを経験した子どもたちが、大人になった時、親と同じ事を繰り返している現状もあるとのこと。

これから必要な取り組みとして、「被害者の保護と自立支援」「公私の機関ネットワークの充実」「DVに対する法制化」を挙げられた。そして「私たち一人ひとりが暴力についての現状を知り、考えていく事が解決の第一歩であり、その現状を伝えるのが私の仕事」と吉廣さんは熱く語った。

な暴力を受けた経験があると回答しています。そして、DVは身体的なものだけに限らず、心理的・性的なものも含まれるといえます。

◆なぜこのようなことが起きるのか？

「妻に暴力を振るう夫は、妻を自分が支配して思うように動かせる所有物として考えている。そして妻側も、その原因は自分にある



あきる野市女性情報誌は、市役所・公民館・図書館・生涯学習センター・ファイブプラザなど、公共施設等に置いてあります。

Information

インフォメーション

あきる野女性プラン推進状況報告書 (平成11年度)ができました

あきる野市では、平成10年度に女性行動計画「あきる野女性プラン」を策定し、総合的に女性施策の充実を図っています。

この度、女性関係行政推進会議(委員長 助役)は、その進捗状況を把握するため、計画事業の平成11年度実績を報告書としてまとめました。

※報告書は、社会教育課、中央公民館、秋川・五日市図書館、生涯学習センター、五日市ファイブプラザで閲覧できます。

ライフフォーラム2000のお知らせ

12月2日(土)午後1時30分より、ふれあいホールにおいて「女と男のライフフォーラム in あきる野2000」を開催します。今回のテーマは「共に立ち上がれ！サバイバル超少子高齢化時代」。講師は、NHK連続テレビ小説「天うらら」の原作者で、ノンフィクション作家の門野晴子さんです。内容は、笑いあり涙ありの市民劇と基調講演。21世紀―高齢社会を生き抜くための知恵と力が湧くフォーラムに、ぜひご参加下さい。

編集後記

- ◆本来持ち合わせていない協調性を、最大限に活用しました。今後も楽しんでやります。 桜木 雪
- ◆悪妻賢夫？だから人生を支え合えた。個性大切に。共生は自己主張が発点。 沢田美佐子
- ◆編集や取材で出会った方々、みんな素敵！そして暖かい！ 角野春美
- ◆シドニーでの女性達の輝く笑顔。21世紀、私達にも何かできそうな気がする。 中山佳代子
- ◆和紙の魅力を再発見。紙漉き体験もおもしろかった。 藤村美映
- ◆大変だけどやりがいのある編集委員。より良い誌面作りを目指して頑張るぞ！丸山きよみ
- ◆まだまだ小玉ねぎの私。成長あるのみ。これからはよろしく！ 三重野由美子
- ◆取材で十何年かぶりに小学校を訪れて、とても懐かしい気持ちになりました。 水口倫子

表紙/しまだ・しほ

この情報誌に関するご意見・ご感想、また、誌面で取り上げてほしいテーマなどを下記までお寄せ下さい。



エフ・ウェイブ
第5号 2000年11月発行

発行/あきる野市教育委員会社会教育部社会教育課
〒197-0814 あきる野市二宮350
Tel 042-558-1111 (内線3015) Fax 042-550-3451
E-mail : josei@city.akiruno.tokyo.jp
企画・編集/あきる野市女性情報誌編集委員会



古紙配合率100%再生紙を使用しています